

学生海外研修報告書

鹿児島大学長 殿

【研修参加者】

所属(学部(研究科)・学年): 水産学部・4年

氏名: 坂之上 菜花

授業科目名	卒業プロジェクト
1. 研修先での学習内容及び自身の学習成果について記載して下さい。(250~300字程度)	
<p>研修先での学習内容は、マーケットやカンパニー、レストランの視察、実習、アンケート、インタビューなどを通し、発酵食品や加工食品、調味料飲食店、マーケットにあるハラール食品を調査することである。学習の成果は、三つある。一つ目は、ノンムスリムはアルコールの入った調味料やノンハラール食品を食べるため、ムスリムとは調味料や飲食店に違いがあることだ。二つ目は、ハラールロゴやEナンバー、電話、詳細の欄を使ってハラール食品を確認していることだ。三つ目は、アルコールが発生する加工過程の場合、何を目的として作っているか、アルコールを途中で取り出さないことを留意する必要があることだ。</p>	
2. 現地での生活を体験して得た気づきや学びを記載して下さい。(250~300字程度)	
<p>現地での生活を通し、三つのことを学んだ。一つ目は、イスラムの人の生活についてである。マレーシアに行く前、私はイスラム教への怖いという偏見を持っていた。しかし、私からすると厳しいイスラム教の教えは彼らの中では当たり前であることを心から実感した。多様な当たり前があつていいことに気づかされた。二つ目は、現地の人と同じ、食べ物、洋服、習慣をすることが、現地の人を理解し、心を打ち解ける最大の秘訣だということである。三つ目は、思いやりやホスピタリティの精神についてである。このような新しい優しさに触れることで自身のこれまでの行動を反省するとともに、これからもらった恩を誰かに繋げる恩送りをしようと決意した。</p>	
3. 研修前と後での自身の変化や最も成長した経験について具体的なエピソードをもとに記載して下さい。(250~300字程度)	
<p>私の最も成長したことは、何事にも挑戦する気持ちを得たことである。これまでの私は、最悪の場合を想定し、恐怖や嫌悪感を抱いてしまい、挑戦することを拒んでいた。しかし、現地の人と関わることで、その人たちと同じ生活してみたい、どんなものを食べているのか、行動しているのか、自分で経験したいと思った。そのため、伝統的な衣装を着たり、見たことのないものを食べてみたり、マレーシア式のトイレを試したりでき、その挑戦から私は、経験だけでなく、挑戦することで周りの人とより深く理解したり、新しい喜びを得ることができることを知った。このことから、これからも挑戦する気持ちを絶やさず持ち続けたい。</p>	
4. 地域社会の発展に寄与するため、今後取り組んでいきたいこと、自身の目標について記載して下さい。(250~300字程度)	
<p>来年の春から私は水産高校の先生として勤務する。今後の私の目標は、そこで二つのことを行うことである。一つ目は、この海外研修で得たハラール食品の知識やマレーシアでの加工方法の話を授業に取り入れ、楽しい授業をすることで、生徒の教科への興味を引き出すことだ。二つ目は、イスラム教の生活やマレーシアの文化について授業や雑談の中で取り入れ、異文化理解に努めることだ。この目標を達成することで、水産物の加工により興味を持つ生徒を増やし、これからの水産業界の発展を担う生徒を育てるとともに、多様性を認め、偏見のない生徒を育てることによって、地域に貢献したい。</p>	